



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

上場会社名 神戸天然物化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6568 URL <https://www.kncweb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼管理本部長 (氏名) 真岡 宅哉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 西山 卓志 TEL 078 (955) 9900
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,593	6.5	154	△52.3	165	△65.9	105	△68.8
2025年3月期第3四半期	5,254	1.3	322	△62.0	484	△44.0	338	△43.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	13.66	-
2025年3月期第3四半期	43.85	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	21,568	13,394	62.1
2025年3月期	20,152	13,520	67.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 13,394百万円 2025年3月期 13,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	16.00	-	17.00	33.00
2026年3月期	-	16.00	-		
2026年3月期 (予想)				17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	7.6	850	10.1	850	△8.6	600	△18.6	77.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	7,779,900株	2025年3月期	7,779,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	38,580株	2025年3月期	48,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	7,736,798株	2025年3月期3Q	7,725,796株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間の国内経済は、自動車産業を中心に米国の通商政策の影響が見られたものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復基調で推移しました。しかし、中国経済の先行き懸念や世界的な金融引き締め継続は、海外景気の下振れを通じて国内景気を下押しするリスクとなります。加えて、物価上昇による個人消費への影響や、金融資本市場の変動にも引き続き注視が必要です。

このような状況の下、当社は中期経営計画の基本方針に沿って、引き続き生産ソリューション提供の拡大による事業構造の変革、新技術の開発、製造合理化等による一層の業績改善に注力してまいりました。この結果、当第3四半期の経営成績及び財政状態は以下のとおりとなりました。

機能材料事業部門の第3四半期は、医薬・医療関連材料や電子関連材料などが総じて堅調に推移しました。一方で、設備稼働は概ね順調に進捗しているものの、当期は翌期に売上として計上される大型案件の生産にも着手していたため、当四半期販売分の販売分の生産リソースが限定され、短期的な売上抑制が発生しました。その結果、売上高は2,077,068千円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

医薬事業部門の第3四半期は量産・開発案件を中心に堅調に推移しました。当期は第1四半期に前期から生産していた大型量産案件の売上（前年同期には同様の案件なし）が計上されたため、前年同期を上回る水準で推移しました。その結果、売上高は2,309,915千円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

バイオ事業部門の第3四半期は量産・開発ステージともに好調に推移しました。その結果、売上高は1,206,801千円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

利益面では前年同期と比較して、製品構成の変化に加え、新棟稼働を見据えた先行的な人員体制強化に伴う人件費の増加や稼働準備のための一過性費用、保守点検費などが発生し、利益を押し下げました。また、前期は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）からの大型の研究助成金を営業外収益として計上いたしました。一方で当該助成金を活用して研究開発活動を積極的に推進した結果、研究開発費（販管費）が大きく増加いたしました。当期においては、前期のような大型助成金の受領やそれに伴う研究開発費の大幅な増加はありませんでした。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,593,786千円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益は154,109千円（前年同四半期比52.3%減）、経常利益は165,087千円（前年同四半期比65.9%減）、四半期純利益は105,673千円（前年同四半期比68.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は7,494,162千円となり、前事業年度末に比べて18,664千円増加いたしました。これは主に売掛金が1,061,758千円減少した一方で、仕掛品が633,793千円及びその他流動資産が641,518千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は14,074,095千円となり、前事業年度末に比べて1,397,148千円増加いたしました。これは主に設備の取得等で有形固定資産が1,394,617千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は21,568,258千円となり、前事業年度末に比べて1,415,812千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,969,071千円となり、前事業年度末に比べて700,492千円増加いたしました。これは主に買掛金が299,866千円及びその他流動負債が498,600千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は5,204,402千円となり、前事業年度末に比べて840,765千円増加いたしました。これは主に資金調達により長期借入金が497,971千円及びその他固定負債が334,238千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、8,173,474千円となり、前事業年度末に比べて1,541,258千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は13,394,783千円となり、前事業年度末に比べて125,445千円減少いたしました。これは主に配当金の支払いを実施したこと等により利益剰余金が149,625千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績や市況の変化を織り込んだ販売予想など総合的に勘案し、2026年3月期の通期業績予想を見直すことといたしました。

売上高につきましては、医薬およびバイオ事業部門の開発ステージにおける需要と販売が期首の想定を上回って推移した結果、当初の予想を上回る見込みとなりました。また、利益面においても、保守点検費などの費用増加は見られるものの、増収による増益効果がこれを大きく上回ったため、当初予想を上回る見込みとなりました。詳細につきましては、2026年2月13日公表の「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,385,561	1,717,821
売掛金	2,407,609	1,345,850
製品	438,826	487,513
仕掛品	1,396,396	2,030,190
原材料及び貯蔵品	706,625	1,130,789
その他	140,478	781,997
流動資産合計	7,475,498	7,494,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,575,048	5,676,869
機械装置及び運搬具(純額)	1,463,334	4,310,649
土地	2,298,576	2,298,576
建設仮勘定	3,646,598	65,714
その他(純額)	163,466	189,831
有形固定資産合計	11,147,024	12,541,641
無形固定資産	51,560	56,914
投資その他の資産	1,478,362	1,475,538
固定資産合計	12,676,947	14,074,095
資産合計	20,152,445	21,568,258
負債の部		
流動負債		
買掛金	346,324	646,190
1年内返済予定の長期借入金	852,389	1,109,372
未払法人税等	222,123	2,030
賞与引当金	291,613	156,749
その他	556,128	1,054,729
流動負債合計	2,268,579	2,969,071
固定負債		
長期借入金	2,266,634	2,764,605
退職給付引当金	329,834	338,390
その他	1,767,169	2,101,407
固定負債合計	4,363,637	5,204,402
負債合計	6,632,216	8,173,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,995,106	1,995,106
資本剰余金	1,908,209	1,911,702
利益剰余金	9,566,740	9,417,114
自己株式	△53,812	△43,041
株主資本合計	13,416,243	13,280,881
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	103,985	113,901
評価・換算差額等合計	103,985	113,901
純資産合計	13,520,228	13,394,783
負債純資産合計	20,152,445	21,568,258

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,254,828	5,593,786
売上原価	3,743,454	4,387,863
売上総利益	1,511,373	1,205,922
販売費及び一般管理費	1,188,453	1,051,813
営業利益	322,920	154,109
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,598	7,717
助成金収入	157,404	22,517
その他	11,535	4,834
営業外収益合計	174,538	35,069
営業外費用		
支払利息	12,873	23,892
その他	207	199
営業外費用合計	13,081	24,091
経常利益	484,376	165,087
特別利益		
固定資産売却益	4,169	39
特別利益合計	4,169	39
特別損失		
固定資産除却損	3,575	2,950
特別損失合計	3,575	2,950
税引前四半期純利益	484,971	162,176
法人税、住民税及び事業税	54,549	7,272
法人税等調整額	91,671	49,229
法人税等合計	146,221	56,502
四半期純利益	338,750	105,673

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社の事業は、事業セグメントの集約基準に基づいてこれらを集約し、「有機化学品の研究・開発・生産ソリューション事業」を単一の報告セグメントとしております。そのため、セグメント情報を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	661,249千円	777,542千円